

2019. 2. 15
第 5 版

大原かがやき新聞

発行所：大原出張所 Tel.075-744-2020

発行人：北部山間かがやき隊 大原担当 田邊 成悟

三千院どんど



1月15日(火)三千院にてどんど焼きが行われました。お焚き上げのために多くの人々で賑わいをみせていました。

お正月に家に迎えた歳神様が浄化の炎や煙と一緒に天に昇っていく様を見送るという意味があるそうです。私も家に飾り付けしていた、しめ縄と古札を持って行きました。

「どんど」の由来は縁起物と一緒に竹を燃やすと「ドンッ」と爆発音がすることからきているそうです。呼び名や細かいしきたりなどは地域によって異なりますが、書初めを焼いて高く煙が舞い上がると上達する、餅や団子を焼いて食べると今年一年風邪をひかない等、無病息災、厄除けになるといったご利益があるとされています。当日は振る舞いぜんざいがあるなど、身も心も暖まりながらお参りさせていただきました。

大原提言大人版

1月19日(土)大原学院ふるさとホームにて、地元NPOの京都大原里づくり協会の主催で、大原提言大人版という発表会が行われました。「大原提言」とは、大原学院の9年生(中学3年生)が学校教育の一環で毎年発表しているプレゼンテーションでフィールドワークを実施のもと地域課題を調査し、大原をより良くするための提言をまとめて発表するものです。今回はその「大人版」として、大原学院の校長先生、教頭先生、大原観光保勝会の会長、各伝統文化保存会の方々、私も発表させていただきました。全体の内容としては、芸術祭の開催、簡易建物としてのティピー(簡易テント)の活用、観光振興のためのレンタサイクルの普及、地域の社交場としての「ちょい飲み場」、間伐材や倒木材の活用プラン、英語教育について、大原学院のこれから10年、勝林院に関する古文書研究と修繕の取り組みについてなど、多岐に渡りました。

この大原提言大人版では大原の地域課題について、どなたでも発表可能です。年に一回の開催を予定されているとの事なので、おもしろいアイデアをお持ちの方は是非、次回チャレンジしてみてください。



新年交礼会並びに 大原消防分団出初式

1月20日(日)大原ホーム地域交流スペースにて大原各種団体新年交礼会並びに大原消防分団出初式が行われました。第一部 大原消防分団出初式から始まり、安全祈願、玉串奉奠、分団員表彰伝達、副賞授与、左京消防分団の挨拶など。

第二部には大原各種団体の新年交礼会が行われ、開会の挨拶から始まり、祝辞、乾杯、歓談、アトラクションビンゴゲームなど、各種団体の新年を祝う式となりました。



京都大原学院 10周年記念式典

1月25日(金)大原学院にて大原学院10周年記念式典が開催されました。平成21年4月に施設一体型小中一貫教育校として「京都大原学院」が開設されました。今では、小規模保育施設「小野山わらんべ」、子育て支援施設「つどいの広場ぴーちくぱーちく」、「大原地域学童クラブ」が校舎内に併設され、0歳から15歳までの地域の乳幼児、児童、生徒が集う子育てセンター、教育センターとなっています。

今年で10周年を迎えての記念式典では350名以上の来場者で賑わい、学院生の合唱、発表などを聞くことができました。パネルディスカッションでは「京都大原学院の目指すもの～学校存続の危機を乗り越えて～」というテーマで、10年目の大原学院について、歴史やこれまでの歩み、課題等、詳しく知る事ができました。



左京・食と伝統の文化フェスタ 2019

1月27日(日)左京区役所にて、「左京・食と伝統の文化フェスタ2019」が開催されました。内容は「雑煮と納豆餅」についての講演や、11店の飲食物の出店、9ブースある体験ブース、「左京の伝統絵巻」のビデオ映写や「左京の伝統行事」のパネル展示などステージも設営され、多くの人々で賑わいをみせていました。

大原からは大原観光保勝会「大原女衣装体験」、「つけもの いっちゃん」、京都大原の野菜「パープルファーム」、大原野菜のあったかおでん「京都ママフェス」、が出店されていました。

私は百井町の「つけもの いっちゃん」の出店のお手伝いをさせていただきました。内容は「キャベツの柴漬け」、「大根のたくあん」、「菊芋」、「菊芋の酢漬け」、「菊芋の酢漬け柚子風味」、「菊芋の酢漬け赤紫蘇風味」、「菊芋の醤油漬け」、「菊芋クッキー」等でした。私は「菊芋クッキー」を創作、販売させていただきました。